

# 青少年育成センターだより

第134号 2022.5.1

防府市教育委員会生涯学習課

青少年育成センター

0835-23-1303



やねよりたかい こいのぼり おおきいまごいは おとうさん  
ちいさいひごいは こどもたち おもしろそうに およいでる



最近、街では鯉のぼりが泳いでいるのをあまり見なくなりましたが、少し、住宅が少ない地域に行くと空を気持ちよさそうに、元気よく泳いでいる鯉のぼりを見ることが出来ます。子どもたちも鯉のぼりのように元気よく育てて欲しいものです。コロナなんかには負けないように!!

## 父親の役割②（父親との遊びについて）

「青少年育成センターだより第128号」で、父親としての子育ての役割の一つとして「子どもと一緒に遊びましょう」ということを提案しました。「いかがですか、お父さん、最近子どもと一緒に遊んでいますか？」ここで改めて、父親との遊びが子どもの成長にとっていかに大切なのか考えてみましょう。

心理的発達の度合いの高い子は、父親とよく遊ぶ傾向があることが示されている。また、父親とよく遊ぶ傾向が見られる子どもは、**情緒性、社会性、自発性が高い**といった知見や父親の日常的な遊びが3歳児の**情緒的および社会的発達に好影響を与える**といった知見も得られている。

たとえば、してはならないことを子どもに教えたり、子どもの言いなりにならなかったりする父親は子どもの発達に好影響を与えることがわかっているが、そのような父親の影響があるのも、一緒に遊ぶことで日常的に気持ちのふれあいももっているからと言えるだろう。

さらには、父親ならではの活発で動きのある遊びが、母親との2者関係から新たな人間関係へと世界を広げる有効な刺激として働くことも指摘されている。父親との身体を使った遊び体験を通じて、子どもは自分をコントロールしながら他者からの攻撃的な行動に対処することを学ぶということも言われている。子どもの気持ちに敏感であると同時に子どもの挑戦を引き出しながら遊ぶ父親の態度が、子どもの発達に好ましい影響を与えるということも報告されている。

（「伸びる子どもは〇〇がすごい」榎本博明著 日経プレミアシリーズ）

著者は、このように父親が子どもと一緒に遊ぶことの大切さについて述べています。

遊びは、子どもにとってとても大切なものです。遊びの中には、子どもが興味を持ったり、集中して取り組めたりするものがあります。子どもの遊んでいる姿を見てみるとそのことがよくわかります。子どもは砂場遊びや積み木遊びをしているとき、自分で物語をイメージし、それに必要な物をつくったり、組み立てたり、想像的な活動をします。また遊具遊びでは、自分の身体が喜ぶよう、動きを工夫します。このように子どもたちは遊びを通して、想像力や集中力、身体能力を養うことができます。また、他の子どもと一緒に遊ぶことで、友達との距離感や相手に対する共感性や洞察力も身につきます。遊びは子どもたちが社会に出て生きていくときに必要なものを得る大切な機会と言えるでしょう。

また、父親ならではの遊びは「してはならないこと」を教えたり、「他者との関わり方」等について教える機会となり、このことが子どもの発達に好ましい影響を与えるようです。

さあ、お父さん、忙しい時もあるでしょう。仕事が気になることもあるでしょう。そのような中でも、時間を見つけて子どもと遊びましょう。この時間で、子どもの成長が感じられる嬉しい時間となり、自分自身がリフレッシュできるようになること請け合いです。

文責＝青少年育成センター指導員 藤村